



四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



ドセタキセル+プレドニン療法を 受けられる方へ

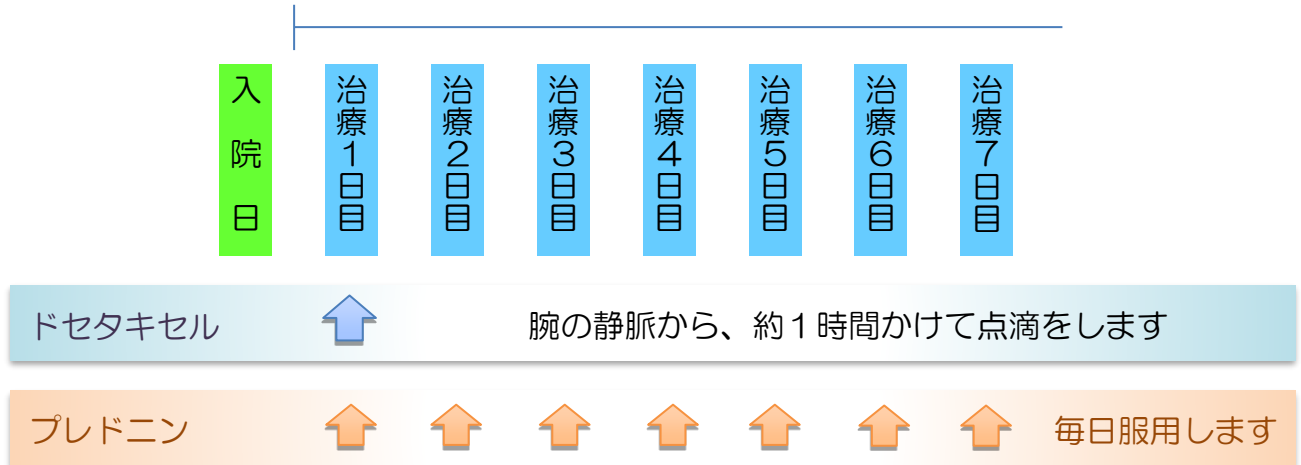
_____さま

主治医

受け持ち看護師

ドセタキセル+プレドニン療法のスケジュール

1コース（21日間）※副作用などで4週間毎になることもあります



- この他に、アレルギー予防や副作用予防のための点滴があります
- この治療法を6～10コース行い、治療が継続できる場合はそれ以降も行います
- 効果が認められなかった場合や副作用で治療が続けられない場合は、中止します

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こるお口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、より良い状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は10日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



**今日の目標**

- ・治療の必要性、副作用について理解できる
- ・医療スタッフの説明が理解できる

<時間>

<予定>

11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・歯科受診 ・血液検査、尿検査 ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・サインをした同意書は看護師にお渡しください ・午前入院の場合は昼食から提供します ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<お薬> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします - 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <食事> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	<睡眠> ・眠れない場合は安定剤を服用することができます

医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します



抗がん剤投与1日目 月 日



今日の目標

- ・安全に治療を受けることができる
- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、歯磨き

体重測定

7:30 朝食

治療前にトイレに行きましょう

10:00 検温、血圧測定

点滴を始めます

1. 生理食塩水	50ml	15分
2. 抗がん剤（ドセタキセル）		1時間
3. 生理食塩水	50ml	約5分

点滴開始後、息が苦しい、胸が苦しい、皮膚が赤くなるなどの症状があらわれたときは、すぐに医療スタッフにお知らせください

針の入っているところが赤くなった、晴れている、痛みがあるときは、すぐに知らせください

※抗がん剤の投与前、投与開始15分後、終了時に、検温、血圧測定を行います

点滴中に移動する際は、輸液ポンプの取り扱いに注意して、ゆっくり行いましょう

12:00 昼食

過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、便秘、下痢について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

14:00 検温、血圧測定

点滴終了後、シャワー浴ができます

体調に合わせて体を拭くこともできます

看護師がお手伝いします

18:00 夕食

フタをして水を2回流しましょう

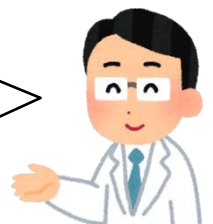


19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯

医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、歯磨き

抗がん剤投与3日目に好中球減少症を予防するための注射をします

7:30 体重測定
朝食

食欲がなければ食べやすい
食事へ変更できます

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

- ・プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- ・針の入っていたところが赤くなった腫れた、痛くなったときは、すぐにお知らせください

14:00 検温、血圧測定

治療2日目：骨髄毒性
治療3日目：倦怠感、味覚障害・食欲不振、関節痛・筋肉痛
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「関節痛・筋肉痛」ページ参照

18:00 夕食

活動に制限はありません
シャワー浴もできます

19:00 検温、血圧測定



21:30 消灯



フタをして水を2回流しましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます



抗がん剤投与4日目 月 日



今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・感染に対する予防行動がとれる
- ・薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
洗面、歯磨き

食欲がなければ食べやすい
食事へ変更できます

7:30

体重測定
朝食

10:00

検温、血圧測定

- ・プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- ・37.5℃以上の発熱があるときはすぐに看護師にお知らせください
- ・血液検査と抗生剤の点滴が始まります
- ・感染予防のためにマスクを着用して手洗い、うがいをしましょう

12:00

昼食

14:00

検温、血圧測定

皮膚障害・爪のトラブル、浮腫（むくみ）について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「がん治療による爪のトラブルについて」パンフレット参照

18:00

夕食

19:00

検温
血圧測定

活動に制限はありません
シャワー浴もできます



21:30

消灯



医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます



今日の目標

- ・治療の副作用について理解できる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・感染に対する予防行動がとれる
- ・薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、歯磨き

7:30 体重測定
朝食

食欲がなければ食べやすい
食事へ変更できます

10:00 検温、血圧測定

- ・プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- ・37.5℃以上の発熱があるときはすぐに看護師にお知らせください
- ・血液検査と抗生剤の点滴が始まります
- ・感染予防のためにマスクを着用して手洗い、うがいをしましょう

12:00 昼食

14:00 検温、血圧測定

抗がん剤投与5日目：口内炎
抗がん剤投与6日目：息切れ・動悸
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

18:00 夕食

19:00 検温
血圧測定

活動に制限はありません
シャワー浴もできます

21:30 消灯



医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・感染に対する予防行動がとれる
- ・薬を正しく内服することができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
洗面、歯磨き

食欲がなければ食べやすい
食事へ変更できます

7:30

体重測定
朝食

10:00

血液検査（7日目）
検温、血圧測定

- ・プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- ・37.5℃以上の発熱があるときはすぐに看護師にお知らせください
- ・血液検査と抗生剤の点滴が始まります
- ・感染予防のためにマスクを着用して手洗い、うがいをしましょう

12:00

昼食

14:00

検温、血圧測定

抗がん剤投与7日目：神経障害、脱毛について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髮編）」パンフレット参照

看護師が、退院後の日常生活と退院当日の流れについて説明します

- ★外来治療についてのオリエンテーションがあります
- ★通院治療室についての説明と見学があります
(初回外来通院となる場合は一度は見学をお勧めします)

18:00

夕食

活動に制限はありません
シャワー浴もできます

19:00

検温、血圧測定

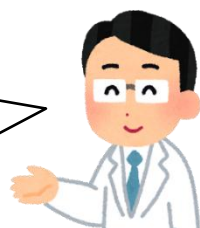
21:30

消灯



医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活について不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・薬を正しく内服することができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床、洗面、歯磨き
検温、血圧測定

プレドニンは、医師の指示どおりに
服用しましょう

7:30

朝食

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階医事受付窓口でお支払ください



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
1 日目	／		8 日目	／	
2 日目	／		9 日目	／	
3 日目	／		10 日目	／	
4 日目	／		11 日目	／	
5 日目	／		12 日目	／	
6 日目	／		13 日目	／	
7 日目	／		14 日目	／	

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
15 日目	／		() 日目	／	
16 日目	／		() 日目	／	
17 日目	／		() 日目	／	
18 日目	／		() 日目	／	
19 日目	／		() 日目	／	
20 日目	／		() 日目	／	
21 日目	／		() 日目	／	

● 関節痛・筋肉痛

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましょう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう

退院後の日常生活について

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
感染予防に心がけ、マスク着用、手洗い、うがいをしましょう
白血球が下がっているときは、人混みは避け、
庭の手入れなど土を触る作業はできるだけ控えましょう



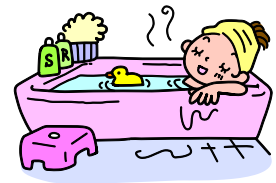
足のしびれが強く日常生活に影響がある場合は、医療スタッフにご相談ください

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、
少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう

●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで
拭くようにしましょう



皮膚が乾燥していると感染を起こしやすいため、クリームなどで保湿しましょう

歯磨き、うがいをしてお口の中をきれいにしておきましょう
歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう
虫歯、歯肉炎、義歯の不具合などがなければ確認しましょう
歯科治療を希望される場合は、担当医に歯科受診についてご相談ください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



プレドニンの影響で以下の症状が出現する場合があります

症状により日常生活に影響がある場合は医療スタッフにご相談ください

★血糖値の上昇、不眠、いろいろ、うつ症状、食欲亢進、制吐作用など

●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

インフルエンザなどの予防接種を希望される場合は、担当医にご相談ください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃を超える発熱が続くとき
- 咳が止まらない日が続くとき
- 吐き気があり、水分や食事がほとんどとれない日が続くとき
- 圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- 体を起こすことができないほどのだるさが続くとき

上記のような症状がある場合や、ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



ドセタキセル+プレドニン療法を受けられる方へ